

# FISH ON! BY REGAL "SAV"

## REGAL 38 SAV



### フィッシングを強く意識し、フィッシャビリティを追求したREGAL ライトローリングからナイトステイまで、まさに日本のユーザーに最適なモデル!

REGALの2020年ラインナップは、2019年10月にフロリダで開催されたディーラーミーティングで発表された。ニューモデルは5艇種。従来、インボードやインアウトが中心だったREGALだが、2016年のイヤーマodelで登場したアウトボードモデル以来、大きく様変わりしてきた。実際、アウトボードモデル投入以降のREGALの売上は好調で、過去3年間で53%の成長を遂げている。さらに2019年の小売売上高はREGAL史上最高額をマークしたと言うから、いかにアウトボードモデルが支持

されているかという指標のひとつとなるだろう。今回紹介する「REGAL 38 SAV」もアウトボード仕様である。

さて「REGAL 38 SAV」だが、「SAV」とは「Sports Activity Vessel」の略。2020年モデルには「38 SAV」のほか、後掲する「33 SAV」がラインナップされている。「38 SAV」は、全長11.8m、全幅3.6mというワイドビームなセンターコンソラーである。パワートレインはアウトボード3基掛け（左機のみカウンターローテーションモデルを採用）。スタンダードは4.2

リッターのYAMAHA F300 (300馬力)の3基掛けだが、オプションで5.3リッターのYAMAHA F350 (350馬力)の3基仕様もチョイスできる。

センターコンソラーとは言ったものはかなり特徴的な左右非対称のデッキレイアウトをしている。センターコンソールの左舷側はサイドウォークアラウンドとなっているが、右舷側はコンソールやブルワークトップと同レベルのサイドデッキ（ハイドックアクセスと呼ばれている）。このサイドデッキは後ろにコックピットフロアへのチークステップが設けられているが、説明によると岸壁などに右舷着けした際にアクセスしやすいように工夫されているという。

実際、ハードトップの脇にステンレス製ハンドルが設けられており、安全に行き来がしやすくなっている。なかなか他では見られないア

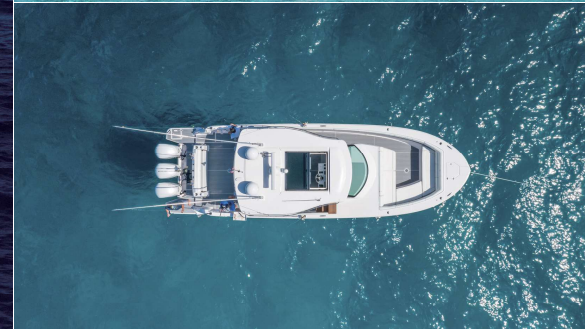
イデアは、さすがREGALらしいポイントだ。

フォアデッキにはアームレスト、ステンレスカップホルダーを備えたU字型のソファを配置。このソファの下は収納スペースとなっている。デッキ中央にはテーブルも設置でき、プレミアムオーディオシステムを備える。ワイドビームを活かし、センターコンソールの後ろにはクワッドキャブテンシート（4列操船席）が並ぶ。左右どちらからでもアクセスでき、右から2番目のシートの前にヘルムステーションが配置されている。ヘルムステーションにはGPS、ナビゲーション、レーダーなどの機能をインクルードするデュアル15インチディスプレイ、ジョイスティック、パワースターレバーなどを配置。必要に応じてコンポーネントを追加できる。クワッドキャブテンシートは、いずれもアームレストを備え、跳ね上げ式





米国の主浜である他のセンターコンソール艇とは一級豪華なワイドビームなデザイン、リールルのアイデンティティとエッセンスが凝縮されたセンターコンソール艇フィッシングボートの誕生だ。



でボルスタタイプに可変、さらに折り畳めるのも特徴だ。折り畳んだ状態ではテーブル代わりに使用可能だ。さらに両サイドのふたつのシートは後ろ向きに回転させられる。中央の2席の下にはYETIの専用クーラーをビルトインしている。

センターコンソールの後部左舷側のドアからは、キャビン内にアクセスできる。さすがに38フィートだけあって、デッキレイアウトはセンターコンソールの亜種ながらも室内空間のボリュームは十分に確保されている。フォアデッキの真下にフラットバースを設け、コンソールの真下にはソファを配置したアフткаビンがある。アフткаビンは立った状態でも寛げるヘッドクリアランス。もちろん、ここもフルフラットのバースにアレンジで



きる。アフткаビンの両舷には採光用の長窓があり、室内は思いのほか明るい。その他、左舷には電子レンジとストレージ付きのコンニエンスセンター、右舷には独立したウォークインシャワー付きの個室ヘッドルームが備わっている。オーバーナイトでのマリナーナステイも充分に楽しめる。

アフткаコクピットは中央にリフレッシュアイランドが設けられている。リフレッシュアイランドには、デュアル冷蔵庫庫、電気グリル、シンク、ストレージ、カップホルダーなどとともに、後ろ向きの折り畳み式シートが配置されている。また右舷側にライブウェルもインサートされている。トランサムにも折り畳めるシートがあり、デッキ中央にはテーブルもセット可能だ。さらにサンルーフを備

えたハードトップには、ドロップダウンタイプのTVとFUSIONのスピーカーがマウントされている。フォアデッキもアフткаコクピットもシェードで覆えるため、真夏の暑い陽射しの中でも快適に過ごせるだろう。フォアデッキだけでなく、アフткаコクピットも素晴らしいパーティー & ピクニックスペースになっている。

アフткаコクピットの両舷にはサイドエントリードアがあり、ボントゥーンなどへのアクセスがしやすく工夫されている。アフткаコクピットは豊富な収納スペースがあり、両舷にフィッシュロッカー、中央のデッキフロアはボタンひとつで後ろ向きに大きくひらく。内部は広大な収納スペースとなっており、発電機やSEAKEEPER、バッテリーも配置されている。トランサムには大型のス



イミングプラットフォームがあり、アウトボードを囲むように両サイドが張り出している。

前述のように「SAV」とはSports Activity Vesselの略だが、REGALではこのモデルをスポーツ、デイボート、オーバーナイト、フィッシングでのユースを想定して設計している。従来、REGALではフィッシングユースを意識したモデルは非常に少なかったが、「SAV」シリーズは相当にフィッシングよりである。たとえばハードトップに設けられた伸縮式のアウトリガーもその一つ。レバー操作ひとつで簡単に展開できる。アフткаコクピットのフィッシュロッカーはマセレーターを搭載し船外に直接排水可能だ。トランサムにはロケットランチャー、随所にロッドホ





ワイドビームなデザインがもたらす恩恵により並列4名を可能にしたコックピットシート。機軸のシートもホルド感が抜群。シートを180度回転させればメザンシートに早変わり。

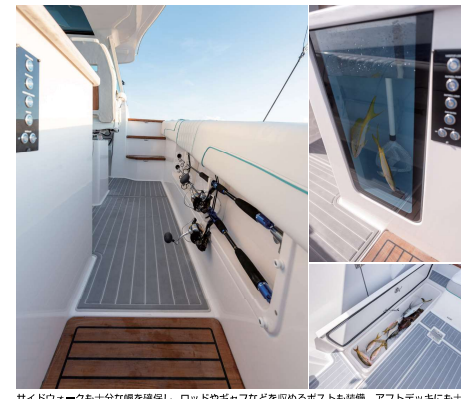


38フィートのセンターコンソール艇としては十分な広さのキャビンスペースと言える。スモールボートを得るREGALならではのアイデアが詰まったキャビンレイアウトは流石の一言。



ルダもマウントされている。

ハイパフォーマンスなYAMAHAアウトボードでフィッシングポイントまで一気に走り、トローリングやキャスト。さらにオプションのSEAKEEPER3を搭載すればロールは抑えられるため、多少荒れても十分に愉しめる。「38 SAV」ではそんなフィッシングスタイルも想像できる。アフトコックピットの両舷のサイドエントリドアを使えばビッグフィッ



サイドウォークも十分な幅を確保し、ロッドやギヤなどを取りめるポストも装備。アフトデッキにも十分なスペースのストレージが備わる。

シュの取り込みも比較的容易だろう。アウトボードならではの利便性を活かした、機動的なボートフィッシングを楽しめる。

各種マリンスポーツから、オーバーナイトステイ、ピクニックやオンボードでのパーティー、そしてフィッシングまで、まさにマルチパーパスに海の遊びを楽しめる究極のボート、「REGAL 38 SAV」は、「SAV」という名を冠した「海のアメリカンSUV」と言えそうだ。

**REGAL 38 SAV**

全長 11.8 m  
全幅 3.6 m  
重量 8.165 ton  
エンジン 3× YAMAHA 4.2L F300  
最高出力 3× 300 HP  
燃料タンク 1,325 L  
問い合わせ先 リーガルジャパン  
www.regalboats.jp

TEL: 079-322-8800



vimeo vimeo